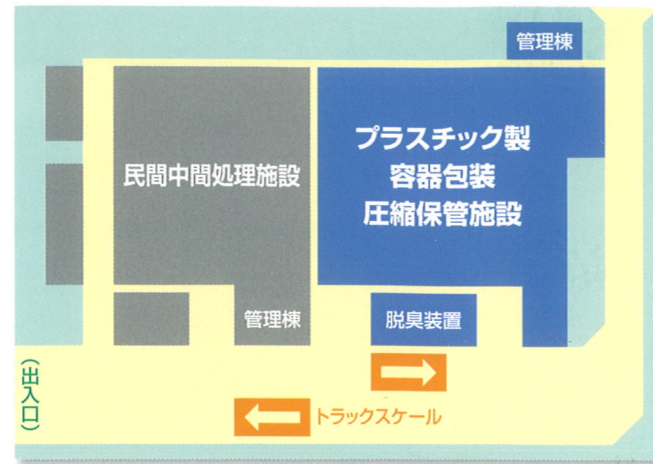


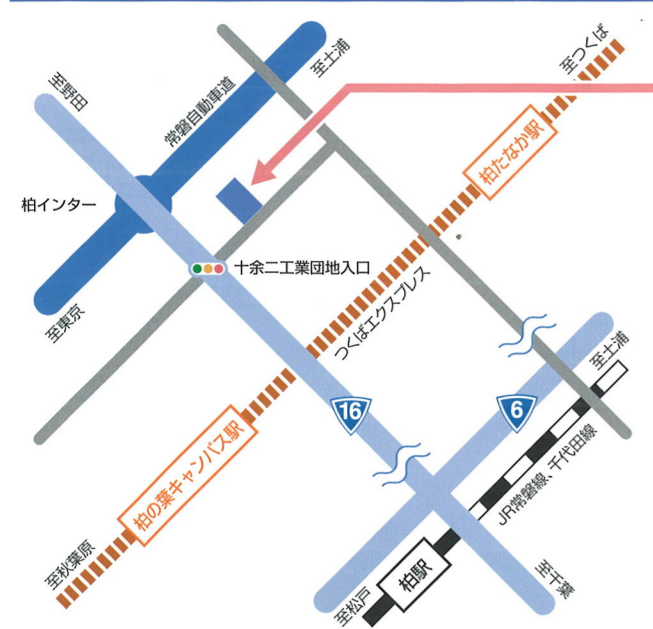
《柏プラネット施設全景》



《柏プラネット施設レイアウト》



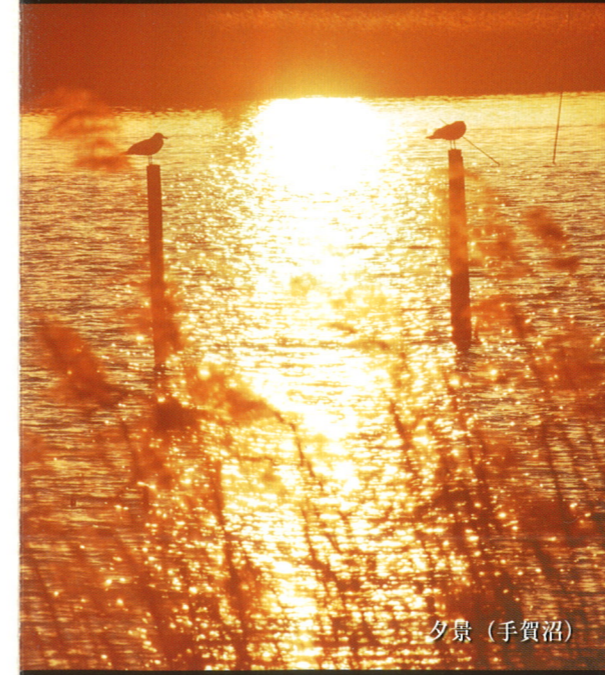
交通アクセス



施設周辺拡大図



大津川と手賀沼



夕景 (手賀沼)



水鳥 (手賀沼)



クリンちゃん
(柏市ごみ減量マスコットキャラクター)

“柏プラネット”とは・・・

圧縮保管施設の名称です。
公募されたもので、「プラスチックのリサイクルという同一目的を持った施設をネットワークでつなぐ」という意味があり、ひいては惑星（プラネット）が周期的に公転しているように、限りある資源が循環して有効利用されることへの願いが込められています。



エコアクション21
認証・登録番号0000031

柏プラネットは、エコアクション21（環境マネジメントシステム）の認証・登録制度を用い、積極的に環境への取組を効果的に実施しています。

住みよい地域環境作り

柏市廃棄物処理業協業組合

〒277-0804 千葉県柏市新十余二番地8 TEL:(04)7133-4501 FAX:(04)7132-0255

URL <http://www.k-planet.org>

柏プラネット

柏市廃棄物処理業協業組合

柏市では、平成7年度からごみ減量化対策の一環として、他の自治体に先駆けて、プラスチック製容器包装の分別と収集を進めてきました。国においても、従来型の廃棄物の焼却や埋立処分方式での限界を打開するため、有用資源のリサイクルを積極的に進めることとした「容器包装リサイクル法」を制定し、自治体には分別収集と基準に則した選別圧縮保管が役割として課せられました。

法施行を機にスタートした本事業は、隣接施設での再商品化事業と合わせ、これまで課題であった柏市のプラスチック製容器包装資源化事業をさらに進め、柏市で生まれたごみを柏市で再生するという「循環型社会」構築への第一歩として行われるものです。

事業概要

■事業内容

プラスチック製容器包装の選別・圧縮・梱包・保管

■事業開始日

平成13年2月28日

■運営主体

法人名：柏市廃棄物処理業協業組合

設立：平成7年3月11日

組合員：株式会社 佐藤クリーンサービス

株式会社 花園サービス

有限会社 柏清掃

山本産業 株式会社

株式会社 千葉総業

有限会社 クリーンサービス柏

株式会社 エコプランニング (許可番号順)

■施設概要

名称：プラスチック製容器包装 圧縮保管施設

所在地：千葉県柏市新十倉二丁目7番地8

土地面積：3,299平方メートル(所有者柏市より使用貸借)

工場面積：1,227平方メートル

設備処理能力：

プラスチック製容器包装の選別・圧縮・梱包 48t/日

発泡スチロールの減容・固化 3.6t/日

基本設計及びプラント設備：

株式会社 荏原製作所

三菱レイヨン・エンジニアリング 株式会社

着工日：平成12年9月1日

竣工日：平成13年2月26日

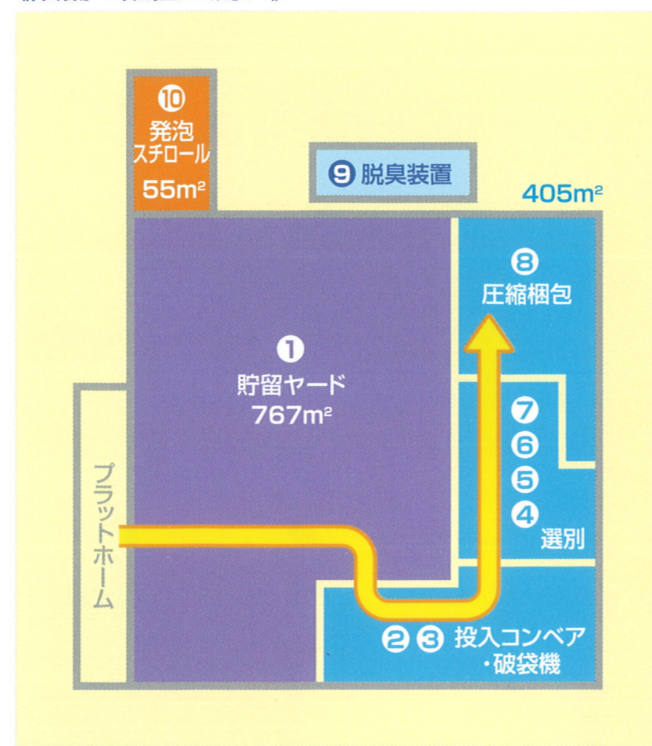
許認可：千葉県一般廃棄物処理施設設置許可

建築基準法第51条の許可及び確認通知

《プラスチック製容器包装 圧縮保管施設外観》



《設備の配置と流れ》



プラスチック製容器包装 圧縮保管・
発泡スチロールリサイクルの設備概要



施設の特長

■周辺環境との調和に配慮した清潔な施設です

*環境アセスメントを実施し、周辺地域への影響・調査を実施したうえで、定期的に環境データの計測を行っています。

■脱臭装置の設置 (活性炭 16t/1,000m³/分)

収集したプラスチック製容器包装から発生する臭気について、貯留ヤードをはじめ各工程で発生する臭気を、吸引ダクトにより脱臭装置に送り清浄な空気にし、排気筒より大気中に排出します。また、プラットホームの開口部は、エアーカーテンを施しています。

■騒音対策

騒音を発生する装置は、吸音対策を施した建屋内に設置して、吸音・遮音対策を行っています。

■手選別は専用ルームを設置

人手による選別作業を快適にするため、専用ルームを設置し、温度・臭気・害虫などの対策を実施しています。

■緑化対策

土地面積の25%に緑化を施しています。

設備と能力

名称	数量
圧縮・梱包施設	
② 受入ホッパー	1台
② 破袋機付コンベア	1台
③ 小袋破袋機	2台
④ 風力選別機	1台
④ 搬送コンベア	1台
⑤ 手選別コンベア(磁選機)	1式(1台)
⑤ 不適物コンベア	1台
⑥ ロールスクリーン	1台
⑦ トルネード選別機	1台
⑧ 圧縮梱包機	1台

名称	数量
減容処理施設	
⑩ 発泡スチロール破碎機	1台
⑩ ストックタンク	1台
⑩ 減容固化機	1台
その他設備	
⑨ 脱臭装置	1式
計量機	1式

処理物

プラスチック製容器包装

最大処理能力

48t/日(14,100t/年)
6t/時間

最大貯留量

2,400m³

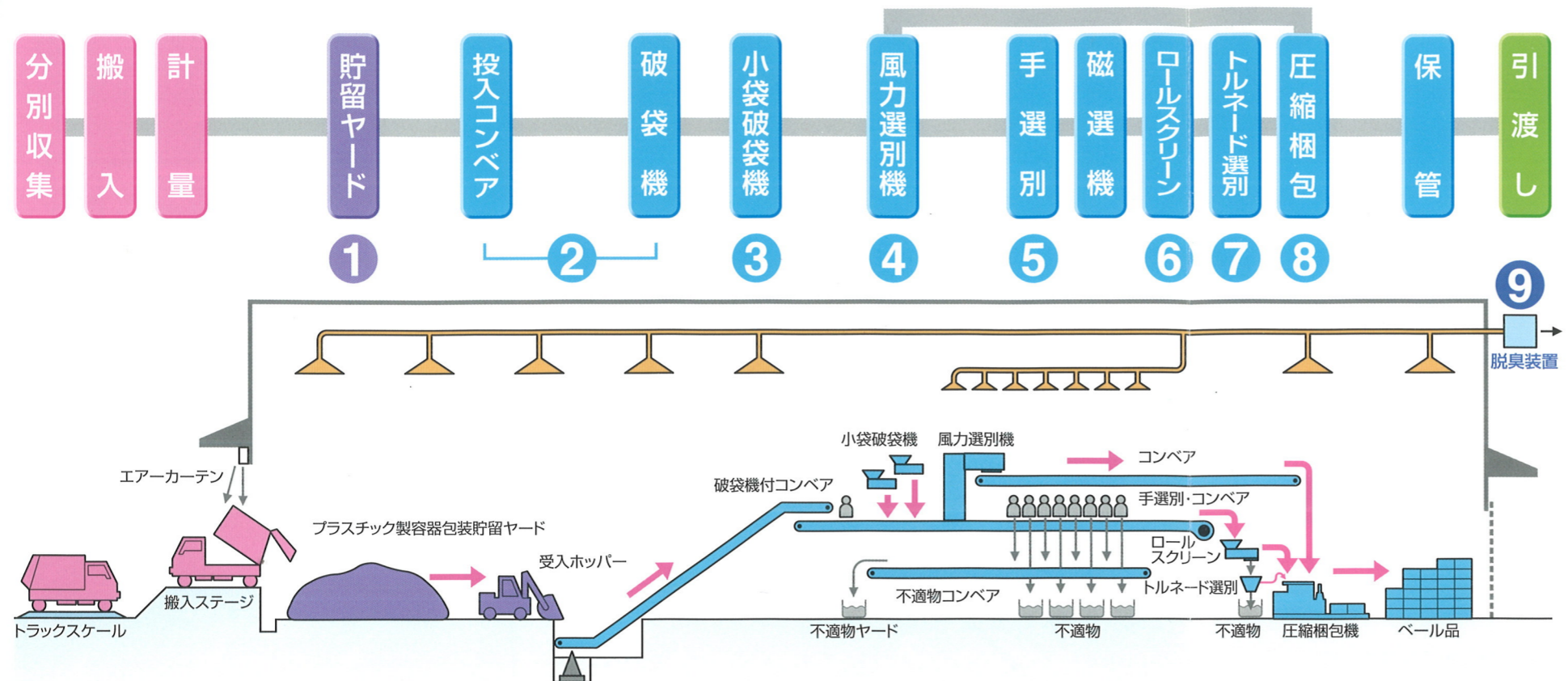
貯留ヤード床面積

767m²

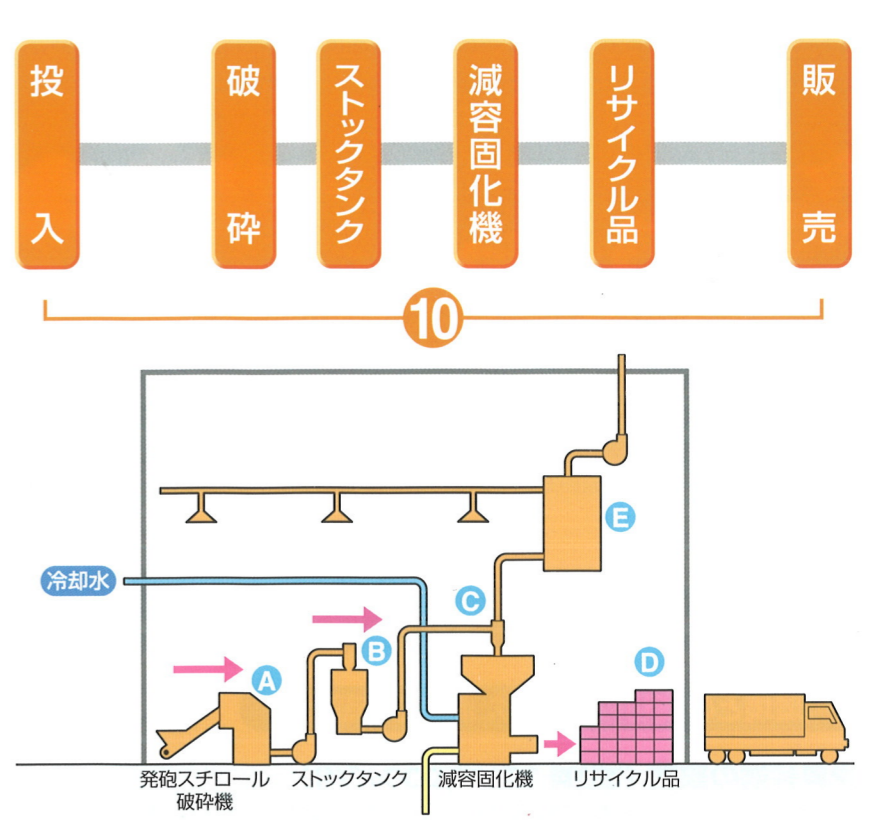
発泡スチロール処理能力

3.6t/日(1,050t/年)

プラスチック製容器包装 圧縮保管の概要



発泡スチロールリサイクルの概要



搬入・計量 (トラックスケール)



収集したプラスチック製容器包装の搬入量を、計量機により自動計測します。

1 受入・貯留



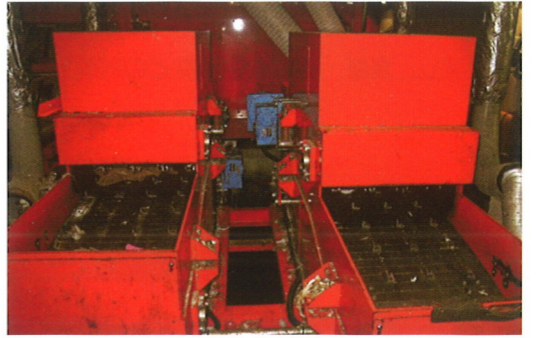
貯留ヤードに投入し、一時貯留します。

2 投入コンベア・破袋機



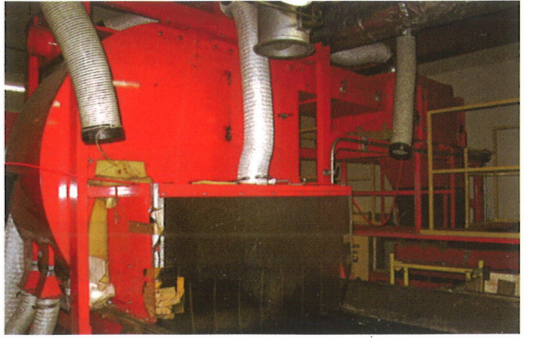
プラスチック製容器包装を投入コンベアに入れます。破袋機で袋を破袋し、選別できるようにします。

3 小袋破袋機



小袋破袋機で、二重、三重に入っているレジ袋などを、破袋します。

4 風力選別機



プラスチック製容器包装の軽いものを、風力で取り出します。

5 手選別



プラスチック製容器包装を手選別により、容器包装プラスチック・非容器包装プラスチック・不適合物に選別します。

6 ロールスクリーン



ロールスクリーンで乾電池やライター等の細かな不適合物を取り除きます。

7 トルネード選別



ロールスクリーン落下物のうち、プラスチック製容器包装等軽量物を風力で飛ばし(トルネード風力選別)、圧縮梱包機に戻します。

8 圧縮梱包



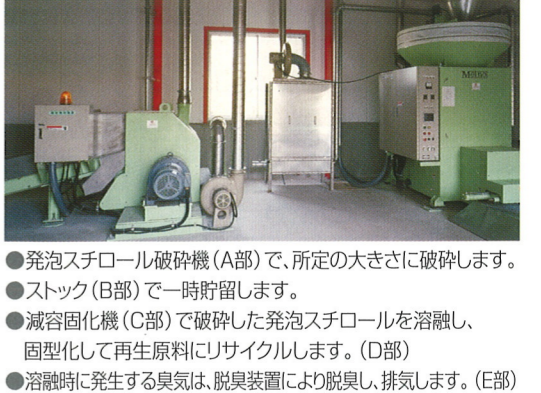
選別したプラスチック製容器包装を圧縮し、PPバンドで結束した上、ボール品で(1×1×1.4m)保管します。

9 脱臭装置



施設から発生する臭気は、各工程を吸引ダクトにより脱臭装置に送り、清浄な空気にして大気中に排出します。

10 発泡スチロールリサイクル



- 発泡スチロール破砕機(A部)で、所定の大きさに破砕します。
- ストック(B部)で一時的に貯留します。
- 減容固化機(C部)で破砕した発泡スチロールを熔融し、固型化して再生原料にリサイクルします。(D部)
- 熔融時に発生する臭気は、脱臭装置により脱臭し、排気します。(E部)